

別冊Picture Dictionaryの使い方

5年生に供給されます。※初年度には、6年生にも供給されます。

家庭でも



学校で (→本書p.22)

- ①書き写すときに
- ②ポインティング・ゲームなどで
- ③学習内容の整理に
- ④Small Talkに
- ⑤スピーチ原稿作りのヒントに



著作関係者

●代表

アレン玉井 光江 青山学院大学
阿野 幸一 文教大学
濱中 紀子 元直島小学校教諭

阿部フォード 恵子 梶山女子園大学
荒井 和枝 筑波大学附属小学校
荒井 浩子 渋谷区立渋谷本町学園小学校
飯嶋 一人 高崎市立城東小学校
池亀 葉子 NPO法人グラスルーツ
池田 真 上智大学
石川奈緒美 川崎市立刈宿小学校
石鍋 浩 明海大学
伊東 弥香 東海大学
大島 賢 台東区立谷中小学校
太田 かおり 九州国際大学
笠島 準一 上智大学名誉教授
樋本 洋子 大阪教育大学
川村 一代 皇學館大学
北野 ゆき 守口市立さつき学園
栗田 智子 東京慈恵会医科大学
木暮 政美 伊勢崎市立あづま小学校
小西かつら 台東区立千束小学校
小林 翔 茨城大学
今野 ゆき 宮城教育大学附属小学校
坂井 邦晃 NPO法人にいがた小学校英語教育研究会
坂下 孝憲 元玉川大学客員教授
坂本ひとみ 東洋学園大学
佐藤 博晴 山形大学
鈴木はる代 つくば市立沼崎小学校
鈴木 渉 宮城教育大学
平良 優 宮古島市立東小学校

高田 純子

建内 高昭

巽 徹

佃 由紀子

樋田 光代

長嶺 寿宣

中村 典生

西原 美幸 広島大学附属小学校

猫田 和明 山口大学

濱田 陽 秋田大学

林 裕子 佐賀大学

日吉 英智 武蔵村山市立第九小学校

町田 淳子 白梅学園大学

間宮 多恵 港区立笄小学校

村野井 仁 東北学院大学

矢野 淳 静岡大学

山口 紀生 LCA国際学園

山下 桂世子 Ashbrook School

山野 有紀 宇都宮大学

行岡 七重 枚方市英語教育指導助手

渡邊 浩章 佐倉市立南志津小学校

渡部 裕子 郡山市立桃見台小学校

Brian M. Peck 昭和女子大学

Mark Fennelly 四国大学

東京書籍株式会社 (ほか 6 名)

特別支援教育に関する編集協力

村上加代子 神戸山手短期大学

バリアフリーに関する校閲

石井 正 元京都市立染町小学校校長

※色覚の多様性に配慮し、「色覚問題研究グループばばてる」の協力を得て、全ページにわたって色彩デザインを検証しています。



内容解説資料

東書Eネットの特集ページでも、
音声・動画付きで
詳しくご紹介しています！

東京書籍 小学校英語 <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/eigo/>

小学校外語科用 文部科学省検定教科書 2 東書 英語 501

NEW HORIZON Elementary English Course 5

English Course

5

TOKYO SHOSEKI

「教育現場の声」を大切にしました！

グローバル社会を生き抜く日本人を育成するという国の方針に基づき、日本の英語教育は大きな改革期を迎えています。

いよいよ小学校で新教科外国語の授業が全面実施になります。

東京書籍は、小学校高学年用外国語科教科書

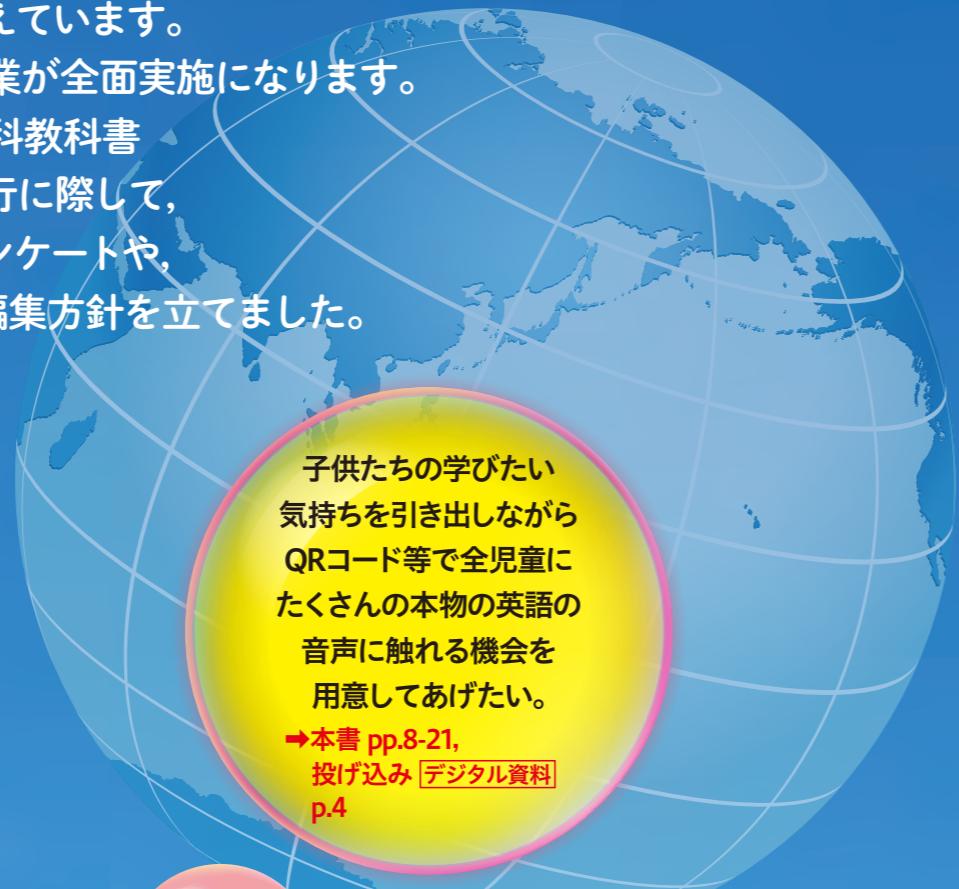
『NEW HORIZON Elementary』の発行に際して、全国の先生方にご協力いただいたアンケートや、お寄せいただいたご意見をもとに、編集方針を立てました。



地域で



国際交流プロジェクトで子供たちが世界の友達といきいきした表情で英語を使う姿を見てみたい。
→本書 p.19



子供たちの学びたい気持ちを引き出しながらQRコード等で全児童にたくさんの本物の英語の音声に触れる機会を用意してあげたい。
→本書 pp.8-21、
投げ込み [デジタル資料](#)
p.4

家庭で



短時間学習やカリキュラム・マネジメントに対応した教科書紙面と指導案がほしい。
→本書 pp.24-25

学校で



目標に則した学び方・教え方の分かる映像がほしい。
→本書 pp.30-31
(p.9 QRコード)

指導者の働き方改革に対応した指導書（指導案）・デジタル教材のラインナップにしてほしい。
→本書 pp.29-31、
(p.13・21)
投げ込み [デジタル資料](#)



移行期のばらつきを引き受け、子供が中学校新課程で困らない指導をしたい。
→本書 pp.22-23
投げ込み [題材資料](#)

中学年『Let's Try!』や多くの他教科との関連がしっかりした教科書にしてほしい。
→本書 pp.26-27、
投げ込み [題材資料](#)

みんなが英語を好きになる！

—豊かな学びが未来を拓く—

小学校英語に対する「現場の声」と 教育改革のめざす三本の柱に則り、
新しい教科書『NEW HORIZON Elementary』は、**公教育**で英語を学ぶさまざまな学習環境の**全ての児童たちが、**
楽しい学びの機会を等しく得られるようにと願って編集されました。そのためたくさんコンテンツをご用意していますが、
授業ではカリキュラム・マネジメントで適宜選びながらお使いいただくことを想定しています。「みんなが英語を好きになる！」のコンセプトのもとで、次のような編集方針と分冊構成にしました。

NEW HORIZON Elementary の編集方針

1 「もっと学びたい！」を育てる教科書

- 言語の使用場面や働きを重視し、英語を使って主体的に、深く学び続ける意欲を引き出す。
- 楽しいコミュニケーション活動の姿をゴールとし、その評価を次の学びに生かす。
- 4技能5領域の学習をバランスよく統合し、小学校での学びを系統的に中学校へつなぐ。

2 「何ができるようになるのか」が分かる教科書

- 学年テーマを設けて学習のまとめを重視し、学びのロードマップを明示する。
- 見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導の手順を整理する。
- 活動をスモールステップで示し、短時間学習を含むカリキュラム・マネジメントに対応させる。

3 「どのように学ぶのか」を示す教科書

- 学習内容を紙面の定位置に配置し、初の教科化で不安な指導の流れを分かりやすく示す。
- 学びに役立つ音声や映像をふんだんに用意し、音のインプットを保証する。
- 別冊Picture Dictionaryでは、携帯して自学自習にも使える機能を充実させる。

東京書籍小学校英語の歩み

総合的な学習の時間における国際理解教育の一環としての英語教育時代（1998-2011）



● 外国語活動必修化時代（2012-2016）



NEW HORIZON Elementary の分冊構成

全3冊。本体と別冊があります。

- 用途に合わせて大きさを変えています。

本体：文字の書き込みやすさやカードの貼り込みやすさに配慮して**より大きな判型**にしました。

別冊：持ち運びの負担に配慮して**より小さな判型**にしました。

※本体と別冊の詳しい使い方は本書pp.10-19, p.22をご参照ください。

- 3分冊に計約200か所のQRコードを用意し、質の高い音声をいつでも聞けるようにしました。

※これらのコンテンツは教師用指導書付属ディスクや児童用音声CDでもご利用いただけます。



本体（大判 A4判サイズ）

別冊（小判 AB判サイズ）

本体（大判 A4判サイズ）

別冊は
2年間
使用します

小学校で学びたい語（600～700語程度）や表現が収録されています。

- 5年生に供給され、2年間同一の冊子を「自分自身の学びの履歴」として使い続けることができます。（→本書p.22）

- 初年度には、6年生にも供給されます。



実際のコンテンツに
アクセスできます。



単語を4線上に正しく
書き写すときなどに

● 新学習指導要領告示、移行期対応時代（2017-）



※既刊商品群や教授資料の長所を生かして、これからも「教育現場の声」に合わせた周辺教材を作り続けます。

これが NEW HORIZON Elementaryの 特色です

1

「学びたい！」をはぐくむ構成

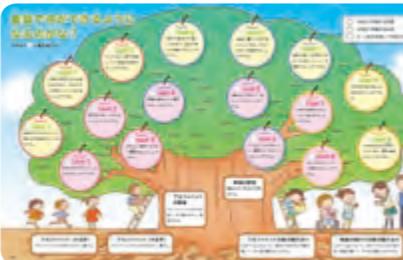
—明確な目標のもとで評価を学びに生かす—



2

「できる！」をいざなう題材内容

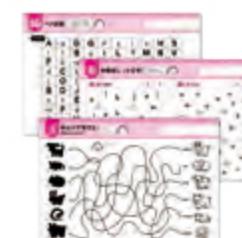
—学習のまとめをテーマ別に整理する—



3

「どう学ぶ？」に応える紙面と周辺教材

—英語教育に必須の「音」と特別支援を大切にする—



基本構成	たくさんの発見をしながら、外国語の見方・考え方を働かせる	
Unit	8つのUnitと3つのCheck Your Steps	8
導入	Starting Out の考え方と扱い方	
	音と映像で重要表現に「出会う」 【聞く】	10
展開	Your Turn の考え方と扱い方	
	ペア・ワーク、グループ・ワークで重要表現に「慣れる」 【話す】	12
単元別まとめ	Enjoy Communication の考え方と扱い方	
	巻末コミュニケーションカードで、思いを「かたち」にして「楽しむ」 【技能統合】	14
(オプション)	Over the Horizon の考え方と扱い方	
	異文化情報に触れて世界を「広げる」	16
テーマ別まとめ	Check Your Steps の考え方と扱い方	
	テーマ別（年3回）で学びを「ふり返り」、伝える力を「確かめる」 【技能統合】	18
評価	年間を通して「目標」と「評価」を一体化する指導の流れ	20

● 3・4年『Let's Try!』から中学校にスムーズに橋渡しする	
スパイラルに登場する語や表現を集めたPicture Dictionary	22
● 「自分」に発し、「地域」「日本」「世界」を考える そして再び「自分」を見つめる	
カリキュラム・マネジメントに適したテーマ別ロードマップ	24
● 他教科に関連して、思考力・判断力・表現力を身につける	
全教科の指導時期を踏まえた単元配列	26
● 世界の人権・多様性を考える	
今日的な課題に応える題材	28

● 特別支援教育への配慮

活動・学習要素を定位置に配置／新4線と新ユニバーサルデザイン(UD)書体の開発… 29

● 教科書・指導書・デジタル教材の三本柱

教えやすさ・学びやすさを徹底サポートする総合ラインナップ… 30

たくさんの発見をしながら、外国語の見方・考え方を働かせる

各学年8つのUnitと3つのCheck Your Steps

Unit → 基本的な単語や表現を学びます。



Check Your Steps

→ Unitをまとめます。

学びを

確かめる



QRコードで
楽しく学ぼう！

このQRコードから、
左の指導の流れについての映像をご覧いただけます。

2年間を通して、
6つのテーマが設定されています。
(本書 pp.24-25)



教科書
5年 p.35

使用場面重視の、通しのストーリーで学習の流れを創る

Starting Outの
場面・話題

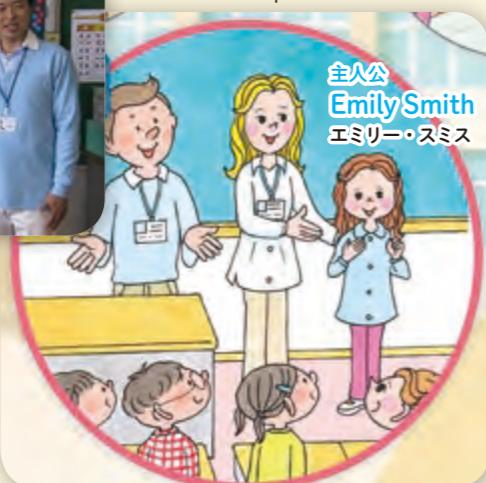
Enjoy Communicationと
Check Your Stepsで目指す姿

シンガポールからの転校生エミリー・スミスの物語

- 日本の公立小学校で学び、さまざまな人と出会いながら成長していくエミリーの2年間を通して、グローバル社会の「生活の中で英語を使う」イメージと「人と人とのつながり」の大切さを伝えます。
- 英語を使う必然性のある場面を設定しています。何度も繰り返し見たり聞いたりすることで、児童のリアルなコミュニケーション活動のモデルになります。
- 短く易しい対話から成る本文には、異文化情報や日本の知られざる魅力を発見できるストーリーがあります。
- 文字を介さず、音と場面だけを頼りに、楽しくストーリーを追える「絵本」です。音声には内容の推測を促す効果音を多用しています。



教科書5年 p.10



推測

おおよその
状況をつかむ

英語を使う日常生活の場面を提示します。

※指導者用デジタル
ブック（→投げ込み
デジタル資料 p.2）
の「因り感ショート
コン」もご活用く
ださい。

5年

- 初授業
- 家庭で
- 校外学習

- 町探検
- 道案内
- 注文・買い物
- お正月
- あこがれの人

6年

- 自己紹介
- 宝物
- 行ってみたい国
- 夏休みの思い出
- 食物連鎖
- 食料産地・栄養
- 小学校生活の思い出
- 中学校進学に向けて、夢宣言

5年

- 名刺交換
- バースデーカード作り
- 夢に近づく時間割紹介

Enjoy Communication
Check Your Steps

- 身近な人紹介
- 町紹介
- ふるさとメニュー紹介
- 地域のおすすめ紹介
- 日本の四季ポストカード作り
- ヒーロー紹介カード作り
- 日本のすてき紹介

6年

- プロフィールカード作り
- 宝物紹介
- 旅先案内
- 外国人にメッセージ
- 夏休み記録メモ作り
- フードチェインカード作り
- オリジナルカレーメモ作り
- 世界と自分のつながりを発見
- アルバムシート作り
- 夢宣言カード作り
- 卒業の寄せ書きのメッセージ

16のUnitと6つのCheck Your Stepsのゴール

- 5・6年の2年間を通して、学んだ結果、何ができるようになるのかを、教科書紙面のイラストとQRコードの学び方動画を使って明示します。
- 同じ教室で学び合う子供たちと指導者全員が、ビジュアル面からゴールの姿をイメージとして共有することにより、効率的でスムーズにコミュニケーション活動を行うことができます。
- ※『Let's Try!』や『We Can!』の「Activity」を、めざすゴールの姿としてより明確にしました。
- 左記のStarting Outのストーリーで学んだ場面と話題が、そのまま児童の活動メニューにつながるように教科書を編集しています。

教科書5年 p.15



選択

自分のことばを
選ぶ

教科書の世界を飛び出して、
教室でリアルに英語を使う児童のモデルです。



の考え方と扱い方

聞く

考え方 音と映像で重要表現に「出会う」

3・4年の外国語活動で慣れ親しんだ表現を繰り返し登場させ、それらをふり返しながら英語の音に触れる「導入」パートです。児童の身近な話題を題材としたストーリーをスクリプトとして用意し(→本書p.8), 学習への関心・意欲を高めます。

●育成したい主な力(pp.10-11の例)

5領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	◎		○		

●評価のめやす	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	○		○

- ✓ 学校生活における転校生との日常会話や自己紹介を聞いている。
- ✓ おおよその内容を推測しながら聞こうとしている。

1時間目 の授業の流れ



ALTはALTとのチームティーチングを推奨する活動です。ここで評価! 以外の活動でも適宜評価を行います。

Unit 1 Hello, friends.

Our Goal 名前や好きなもの・ことを伝えよう。

Starting Out 英語を聞いて、画面の順に□に番号を書こう。

1 Let's Try ① ワードゲームをしよう。

2 Let's Chant ② 何を歌う?

3 Let's Watch and Think 次の小学生について分かったことを空欄に書こう。

10 11

Small Talk SAT
What is your name?

Word Link Picture Dictionaryを見てね!

Sounds and Letters A 大文字を読もう pp.86-87

卷末ノート

※紙面を上中下段に三分割。上段と下段は短時間学習でも使うことができ、中段の45分授業と密接に関連しています。

扱い方

- Our GoalでUnitの目標をクラス全員で確かめましょう。毎時の目標は指導書に載せています。
- Let's Sing を「今月の歌」として毎時流せば、そのUnitのテーマを意識した授業づくりに活用できます。
- Let's Chant には、そのUnitの重要表現が繰り返し現れます。Unitを通して毎時活用しましょう。
- Starting Out のストーリーもUnitを通して繰り返し聞かせましょう。
- Small Talk と Let's Watch and Think には、児童の発達段階と指導者の負担に配慮した、学びやすく教えやすいデジタルコンテンツを指導書にご用意しています。

別冊 Picture Dictionary の使い方

Let's Try ① で、脚注 Word Link の参照ページを開き、その時間で重要なジャンルの語彙について、ポイントインテイグゲームなどをして慣れ親します。指導書やデジタル教材には、選べるゲームのバリエーションをご用意しています。

この段階で全て理解できる必要はありません。場面や状況などから、おおよその内容を推測して聞くように促しましょう。

Point! 1

「学びたい!」をはぐくむ構成

2時間目 の授業の流れ





の考え方と扱い方

話す

考え方 ペア・ワーク、グループ・ワークで重要表現に「慣れる」

Starting Outに出てきた音声を繰り返し聞いて、児童自身のことばとして少しづつ発話できるようになるための活動をご用意しています。先生や友達とのやり取りを通して繰り返し聞いたり言ったりして、語や表現が自然に身につく練習パートです。

●育成したい主な力 (pp.12-13の例)

5領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	○	○			

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○	○	

●評価のめやす

- ✓ 繰り返し聞いてきた語や表現の意味が分かる。
- ✓ 学習した語や表現を使って簡単なやり取りができる。

扱い方

●メインキャラクターの吹き出しのセリフが、各時のターゲットとなる表現です。Starting Outから本Unitの最重要ターゲットが抜き出されたものです。Starting Outのストーリーをふり返りとして活用しながら、「聞く 」と「話す 」をつなぎましょう。

●Starting OutのOur Goalで、Unit通しの全体の目標を再度クラス全員で確かめましょう。

●**Sounds and Letters**では、毎時指導書付属の音声を流します。児童は教科書巻末のノートに少しずつ書き込むだけで、指導者が負担なく指導できるようになっています。

別冊 Picture Dictionary の使い方

3時間目は「好きな色」、4時間目では「好きな食べ物」が話題となります。

② Let's Try ② や ④ Let's Try ③ で脚注Word Linkの参照ページを開いて、そのジャンルの重要な語をメトロラーニング (→投げ込み デジタル資料 p.2) で練習します。

このパートでは、英語の知識・技能の習得をめざしています。児童の様子を見ながら、時間を多めにとってもよいでしょう。



Point! 2

「学びたい！」をはぐくむ構成

3時間目 の授業の流れ

導入

- Let's Sing (3分)**
- Let's Chant (7分)**
- Small Talk (5分) ALT**
脚注 Small Talk ② What sport do you like?
- Let's Listen ① (10分) ①**
音声を聞いて 脚注 Word Link Picture Dictionary 線つなぎをする。
- Let's Try ② (10分) ALT**
先生や友達と好きなことについて話す。
ここで評価!
- Sounds and Letters (5分)**
脚注 Sounds and Letters ① 大文字A~G p.86 A~G 卷末ノート

1 Let's Listen 1 登場人物の好き嫌いを聞いて、線で結ぼう。

2 Let's Try 2 色、スポーツ、食べ物について、それぞれ何が好きかをたずね合い、表に書こう。

3 Let's Listen 2 聞こえた名前をメモして、○で囲もう。

4 Let's Try 3 自分の好きな色と食べ物について、○に巻末絵カードを書きながら覚えよう。

4時間目 の授業の流れ

導入

- Let's Sing (3分)**
- Let's Chant (7分)**
- Let's Listen ② (10分) ③**
音声を聞いて聞こえた名前をメモし、○で囲む。
- Let's Try ③ (15分) ALT**
自分の名前のつづりと好きな色・食べ物について考えて話す。
ここで評価!
- Sounds and Letters (5分)**
脚注 Sounds and Letters ② 大文字H~N p.86-87 H~N 卷末ノート



の考え方と扱い方

Our Goal

技能
統合

考え方 卷末コミュニケーションカードで、思いを「かたち」にして「楽しむ」

Starting OutやYour Turnで学習してきた語や表現を使う活動で、このUnitで身につけた力を見取る「まとめ」のパートです。あいさつしたり相づちを打ったりするなど、英語を使ったコミュニケーションのしかたも重要です。

●育成したい主な力 (pp.14-15の例)

聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
○				○

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○	○	○

●評価のめやす

- 他者に配慮しながら自分の名前や好きなもの・ことを伝えることができる。
- 相手の発言を理解したうえで、適切にたずねたり答えたりすることができる。

5時間目 の授業の流れ



1. 名刺カードで名前を書く (Step 1)
2. 好きなものの絵を描く (Step 2)
3. 友達と名前や好きなものについてやり取り (Step 3)

14 15

扱い方

Starting Out に戻って Our Goal, Let's Sing, Let's Chant で Unit全体をふり返る時間を大切にしましょう。

●卷末コミュニケーションカードとして、卷末に厚手の用紙で準備されている名刺カードをミシン目に沿って切り取り、自分の名前のつづりと好きなもの・ことの絵を児童が描きます。

●活動を終えた名刺カードは「テーマ別まとめ」のページ (→本書pp.18-19) に貼って、学びのポートフォリオとして評価に生かせます。

●③のイラストがこのUnit全体でめざす姿です。

別冊 Picture Dictionary の使い方

5時間目の① Step 1 や② Step 2 で、名刺カードに文字や絵をかくときの手本を見つけることができる、全ての児童が何らかの形で取り組むためのヒントになります。また6時間目で、足りない語や表現を児童どうしで助け合いながら補うときにも活用できます。

ここが単元のゴールです。単元の目標 (Our Goal) をしっかりと確認して見取りましょう。

英語力だけでなく、相手意識や伝える工夫が大切です。

Point! 3

「学びたい!」をはぐくむ構成

6時間目 の授業の流れ





考え方

異文化情報に触れて
世界を「広げる」

直前の3見開きに関連する**外国の文化などを学べるコーナー**です。世界の国々を身近に感じることで、英語という言語の重要性や日本の良さに気づきを与え、実生活や実社会に生きて働く力となることをめざします。さらに、中学校に向けて学び続ける心を育てます。言語の背景にある文化に気づき、**より深い学びに向かうための資料ページ**です。

7時間目 の授業の流れ



の考え方と扱い方

—主体的・対話的に深く学び続けるために—

学んだ英語をもとに、他教科の知識と融合を図りながら視野を広げます。自習用にして単元の時間調整に使用することもできます。



扱い方

●このページで発見したり疑問に思ったりして心を動かした体験をもとに、Over the Horizon (水平線を越えて) の文字通り、世界とつなげてキャリア教育に広げましょう。

● Starting Out の Our Goal, Let's Sing, Let's Chant をふり返りましょう。

Do you know?

● Starting Out の Let's Watch and Thinkに強く結びつけて、他教科との関連でより深く広く学べる資料です。豆知識が得られるクイズもあります。Challenge! では英語を使う活動があります。

(例) 世界の九九 (5年p.33), 世界の標識・ピクトグラム (5年pp.52-53), 世界遺産 (6年p.28), 世界の食料事情 (6年p.59) ほか

ことば探検

●日本語との比較を通して、同じ言語教科である国語と相乗的に理解を深めるためのコーナーです。指導書や準拠教材にはデジタルコンテンツやワークシートもご用意します。

(例) ローマ字と英語 (5年p.24), 外来語 (5年p.60), 文のリズム (6年p.70) ほか

Interviews!
日本のすてき

●「日本のすてき」 (5年) では、案内役の「まり姫」が、日本文化に魅了されて日本で働く外国人たちを、まとまりのあるインタビューで紹介します。キャリア教育を重視しています。

(例) ぶどう園農家 (ソイル・アリ/トルコ, 5年p.33), 落語家 (ダイアン吉日/イギリス, 5年p.81)

●「世界のすてき」 (6年) では、案内役の「ジョン万太郎」が、世界各国で町の住人から旅人として情報を集める場面などを紹介します。

(例) 中国 (6年p.13), 韓国 (6年p.21), ガーナ (6年p.71), サウジアラビア (6年p.79) ほか

Point! 4

QRコンテンツには音声と映像のどちらもあり、家庭でも学べます。

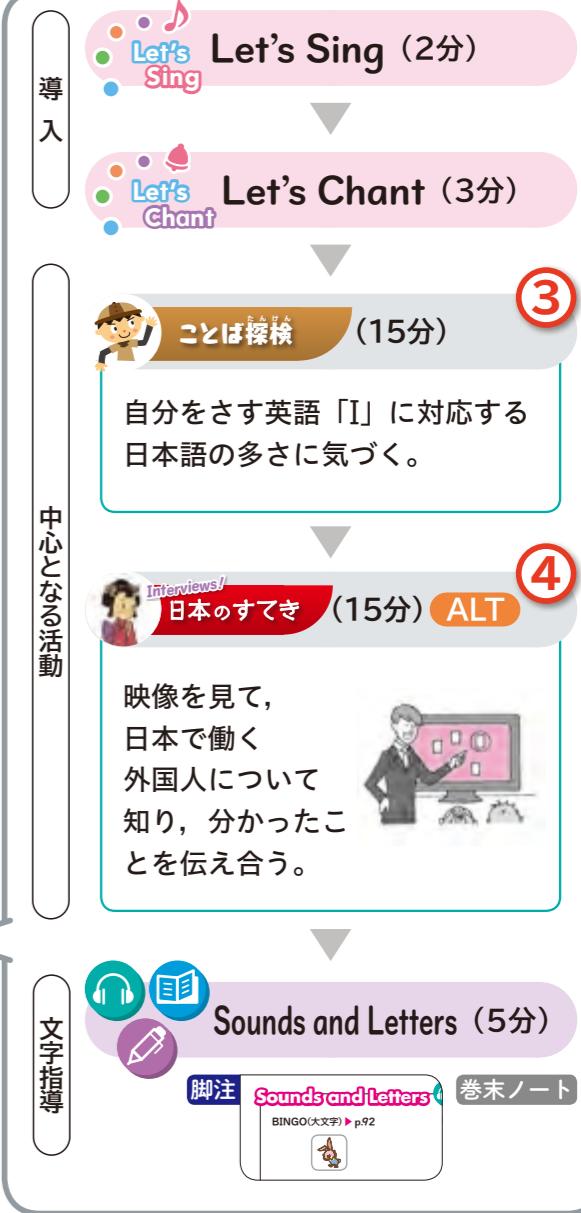
1

2

3

4

8時間目 の授業の流れ



考え方 テーマ別（年3回）で学びを「ふり返り」、伝える力を「確かめる」

これまでの複数の単元で学んだ英語を使って発表を行います。単元末の成果物（巻末コミュニケーションカード）をふり返りながら、テーマに沿ったスピーチを作り、発表します。発表を受けて、聞き取ったりやり取りしたりする力も見取れます。

●育成したい主な力（pp.34-35の例）

5領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
知識・技能	○	○	○	○	
思考・判断・表現	○	○	○	○	
主体的に学習に取り組む態度					

●評価のめやす

- 同じテーマで学んだ複数の単元の話題や表現を組み合わせて、自分の思いをより工夫して伝えている。
- 発達段階に応じ、次の学びにつながる深い思考力、判断力、表現力が身についている。

1時間目 の授業の流れ

導入

Let's Chant (10分)
表現のふり返り
(該当のもの全て)

HOP (10分) ALT
これまでの学習を別冊Picture Dictionaryなどでふり返って、できることを確認し、伝えたいことを選ぶ。

中心となる活動

STEP (15分) ALT
自己紹介の構成を考え、スピーチ原稿を作成する。次に向けて、自己紹介の練習をする。

まとめ

ふり返りシート (5分)

Check Your Steps 1 外国の人へ自己紹介をしよう

Unit 1～3のEnjoy Communicationの活動で使った作品をはろう。

Unit 1 名刺カード p.14

Unit 2 パースデータカード p.22

Unit 3 夢に近づく時間割 p.30

スピーチに挑戦！ 初めて会う外国人へ自己紹介をしよう

1 HOP 自己紹介で伝えたいこと（好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日など）を選ぼう。

2 STEP その中に伝えたいことを入れて自己紹介スピーチを考えよう。パネルも作ろう。

3 JUMP 相手に伝わるよう工夫しながら（声・表情・スピードなど）スピーチをしよう。

4 おわりのあいさつをしよう。（Hello.）名前やつづりを言おう。（I am _____）自己紹介で伝えたいことを選ぼう。

ふり返り！ スピーチの内容は☆いくつ？

相手に伝える工夫は☆いくつ？

2時間目 の授業の流れ

導入

Let's Chant (5分)
表現のふり返り
(該当のもの全て)

JUMP (25分) ALT ③
自己紹介のスピーチをする。聞いているクラスとのやり取りも行う。

（スピーチの例）
Hello. I'm Ken.
K-E-N, Ken.
I like baseball.
I play the piano.
I want to be a singer.
Thank you.

ここで評価！

（やり取りの例）
Class: Do you like baseball?
Ken: Yes, I do

まとめ

ふり返り (10分)
教科書のp.35の2つのポイントからふり返る。

- スピーチの内容は☆いくつ？
- 相手に伝える工夫は☆いくつ？

身についた力を総合的に見取るための重要なページと位置づけています。地域の活動に展開もできます。



「学びたい！」をはぐくむ構成

年間を通して「目標」と「評価」を一体化する指導の流れ

「自分」
自分のことを紹介しよう
Unit 1~3

Unit 1・2・3の目標: 自分のことを紹介しよう

Unit 1の目標



名前や好きなもの・ことを伝えよう。

出会う Starting Out



2時間扱い (本書pp.10-11参照)

慣れる Your Turn



2時間扱い (本書pp.12-13参照)

楽しむ Enjoy Communication



2時間扱い (本書pp.14-15参照) ※Enjoy Communicationの扱い方によって、Over the Horizonの時数を少なくできます。

Unit 1のゴール

[資料] 広げる Over the Horizon



2時間扱い (本書pp.16-17参照)

このUnitの目標に対応して評価する児童の姿



Unit 2, Unit 3の目標に沿って
ゴール達成

確かめる Check Your Steps

年間のゴール

さらに、いくつかのUnitのテーマがまとまるところで、そのテーマ（ここでは、「自分のことを紹介しよう」）の目標に対応して評価する児童の姿

2時間扱い (本書pp.18-19参照)

学びやすさ・教えやすさを追求！

「指導者の負担」に配慮した年間指導計画の考え方

- Unitはどれも4見開きから成る8時間扱い、Check Your Stepsは2時間扱いです。
- Unitは各学年8つ、Check Your Stepsは各学年3つあり、8 Unit×8時間で、64時間、3 Check Your Steps×2時間で6時間。合計で年間70時間の指導時数になります。
- 「1か月に1 Unit+年3回のCheck Your Steps」を進度のめやすに、確実に指導を進められます。
- 5領域アイコン [聞く , 話す (やり取り) , 話す (発表) , 読む , 書く] で、どの技能を重点的に学ぶのかが明確です。指示文も文字情報として具体的に印字されるので、児童にも指導者にも何をやるべきかがはっきりし、授業がスムーズに流れます。

1. 日々の授業

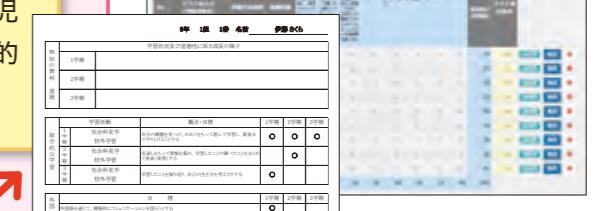
紙面には書き込みスペースがゆったり取られており、児童の取り組みが教科書に残ります。学習がある程度まとまったところで適宜回収してそのまま評価の素材にできるので、指導者の働き方改革に対応しつつ、正確な評価を実現します。

児童の発言や指導書に入っているふり返りシート・ワークシートの内容を通して、英語力だけでなく、言語活動に取り組む意欲や、単元のはじめと終わりの変化、授業で得られたことばへの気づきなど、さまざまなポイントを見ることもできます。

指導書に評価システムを搭載！ (→本書pp.30-31)

教科書に沿って評価を行い、その結果を適宜入力すれば、通知表の評価評定を計算することができます。

※画像はサンプルです。



通知表へ

2. 各単元のまとめ

全Unitの3つめの見開きのEnjoy Communicationでは、直前の2つの見開きであるStarting OutとYour Turnで学んだ英語を使いながら、巻末コミュニケーションカードを作り、クラスの友達とやり取りしたり、発表したりします。このときの児童のパフォーマンスを学びの成果として見取ることで、総括的評価の第一ステップを踏めると考えています。

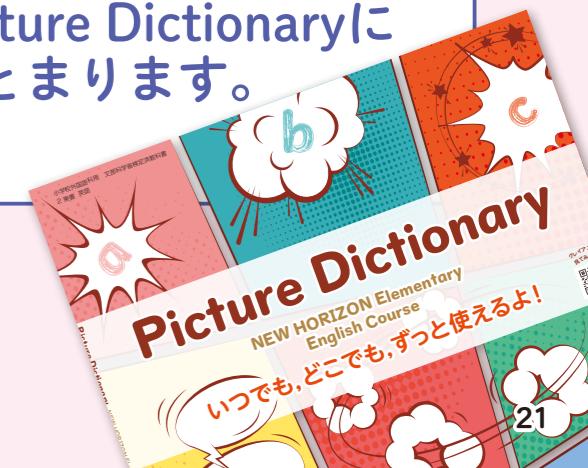
3. 各テーマのまとめ(年3回)

「評価」は「目標」に照らして、一度で終わりではなく、常に次につなげるものである」という考え方を重視しています。

Enjoy Communicationで行ったコミュニケーション活動をふり返りながら、児童が自ら英語を選んだり、組み合わせたりして思いを伝えようとする姿を評価します。

最も高いレベルのコミュニケーション力を測るため、総括的評価においてはより大きな比重が置かれます。

そして、小学校英語での学びが、全て別冊 Picture Dictionaryにまとめます。



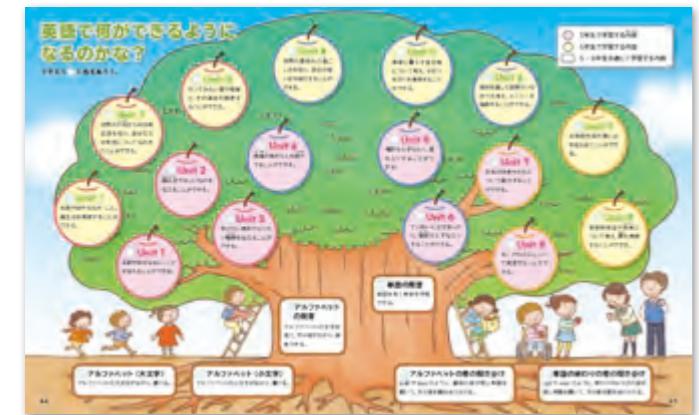
いつでも、どこでも、ずっと使えるよ！

3・4年『Let's Try!』から 中学校にスムーズに橋渡しする

移行期のばらつきに対処する別冊

—スパイラルに登場する語や表現を集めた Picture Dictionary—

- 小学校3～6年生で扱うべき600～700語や表現を1冊にまとめました。
集中的にも扱えます。



- 各Unitの冒頭Our Goalをもとに、CAN-DOリストをリンゴの木で明示しました。
(pp.44-45)

- 本体と一緒に次のような使い方ができます。



単語を書き写すときに
(pp.14-15)



メトロラーニングで、
ゲームで (pp.22-23)



現行本

社会人
大学生

高校生



現行本

中学生



現行本

小学校
高学年



小学校
中学校



Small Talkに
(表紙裏)



Check Your Stepsに
(pp.38-39)



学習の整理に
(pp.34-35)



キーボードの指導に
(pp.42-43)



社会人
大学生

高校生

中学生

小学校
高学年

小学校
中学校

- 新学習指導要領の趣旨を具現化した小学校外国語教材『We Can!』と外国語活動教材『Let's Try!』(→投げ込み題材資料)を軸に編集しました。
- 部分は共通部分を示しており、題材関連率は83%です。

5年	We Can! 1
Unit 1	Hello, everyone.
Unit 2	When is your birthday?
Unit 3	What do you have on Monday?
CYS 1	
Unit 4	What time do you get up? (頻度)
Unit 5	She can run fast. He can jump high.
Unit 6	I want to go to Italy.
CYS 2	
Unit 7	Where is the treasure?
Unit 8	What would you like?
Unit 9	Who is your hero? (三人称)
CYS 3	

※CYS=Check Your Steps

6年	We Can! 2
Unit 1	This is ME!
Unit 2	Welcome to Japan.
Unit 3	He is famous. She is great. (語順)
CYS 1	
Unit 4	I like my town.
Unit 5	My Summer Vacation (過去形)
Unit 6	What do you want to watch?
CYS 2	
Unit 7	My Best Memory (過去形)
Unit 8	What do you want to be?
Unit 9	Junior High School Life
CYS 3	

ポイント1 学年間の言語材料の配列を変えずに、テーマや言語材料上学びの必然性をもたせるための整理を行い、移行期から新課程へスムーズに、漏れなくつなげます。

【スパイラルな扱い】小学生にとって特に難易度の高いものは繰り返し登場させます。

※頻度を表す副詞（5年Unit 7+Unit 8+6年Unit 2で3回。参考：『We Can!』では5年Unit 4で1回）

※過去形（6年Unit 4+Unit 6+Unit 7で3回。参考：『We Can!』では6年Unit 5と7で2回）

ほかにもcanなど、随所にスクリプトで繰り返し、重要な言語材料の定着を図っています。

ポイント2 CLIL [クリル：内容言語統合型学習→本書pp.26-27] 的な他教科関連教材が新要素です。（6年Unit 5, 6）

ポイント3 『Let's Try!』や『We Can!』の「Activity」を、めざすゴールの姿としてより明確にしました。
(→本書p.9)

NEW HORIZON Elementary 5	言語材料
Hello, friends.	
When is your birthday?	want
What do you want to study?	want to (以降繰り返す)
(まとめ) 外国の人自己紹介しよう	
He can bake bread well.	三人称
Where is the post office?	
What would you like?	
(まとめ) 地域のおすすめを紹介しよう	
Welcome to Japan.	頻度
Who is your hero?	三人称、頻度
(まとめ) 日本のすてきを紹介しよう	

NEW HORIZON Elementary 6	言語材料
This is me!	
How is your school life?	頻度
Let's go to Italy.	
外国人にメッセージを伝えよう	
Summer Vacations in the World	過去形
We all live on the Earth.	語順
Let's think about our food.	過去形
世界と自分のつながりを紹介しよう	
My Best Memory	過去形
My Future, My Dream	
寄せ書きのメッセージを伝えよう	

CLIL

「できる!」をいざなう題材内容

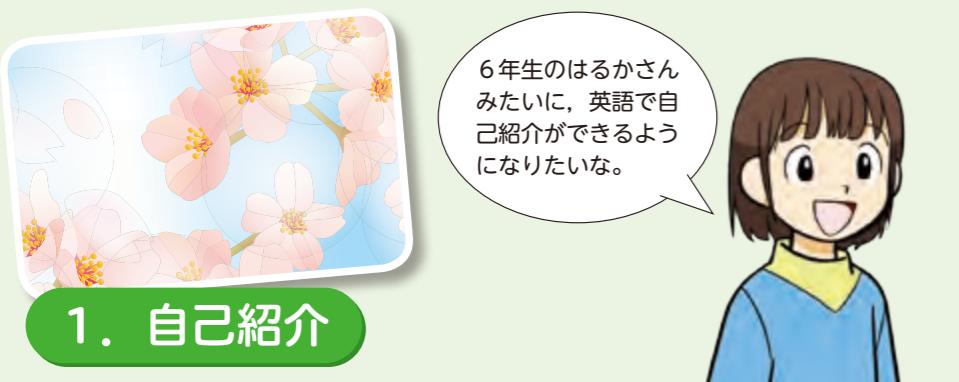
「自分」に発し、「地域」「日本」「世界」を考える そして再び「自分」を見つめる

複式学級指導にも対応

カリキュラム・マネジメントに
適したテーマ別ロードマップ

- 本体では5年が「日本」を、6年が「世界」をテーマに学習内容を組織し、異学年で使う表現や話題をゆるやかにつないでいます。
- 各学年3つのまとめから成る学びのロードマップがあります。
- 6つのまとめを異学年で重ね合わせた複式学級用の年間指導計画をご用意しています。

東京書籍小学校英語Webページをご参照ください。



1. 自己紹介

A年度		B年度			
学期	単元名	時数	学期	単元名	時数
1学期	(「自己紹介」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ①【Hello, friends!】(5年教材-Unit1) ○単元目標 -名前や好きなものなどを伝えたり、り -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の名前や好きなもののこと、(誕生日)について、学習した語を用いて表現できる。 -他者に配慮しながら、自ら進んで自分の名前や好きなものについて、世界と日本の共通点や相違点に気付くことができる。	8	2学期	(「世界の国々」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ①【This is Me!】(6年教材-Unit1) ○単元目標 -名前や誕生日は日本のみ。 -名前や好きなもののこと、(誕生日)について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。 -相手に伝わるようによく自分の名前や好きなものについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
2学期	(「世界の国々」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ②【When is your birthday?】(5年教材-Unit2) ○単元目標 -誕生日や他の日付について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8	1学期	(「自分」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ③【What do you want to study?】(5年教材-Unit3) ○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
1学期	(「自分」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ④【I like ...】(5年教材-Unit4) ○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	2	2学期	(「自分」にかかる単元) ○単元名(使用教材) ⑤【I'm ...】(6年教材-Unit4) ○単元目標 -自分の名前を書くことができる。 -相手に伝わるようによく自分の名前を書くことができる。	2

6年 「世界の国々」

世界の国々を知り、
紹介し合おう

Unit 1~3

A・B年度共通	
単元名	時数
○単元名(使用教材) ①【Hello, friends!】(5年教材-Unit1)	8
○単元目標 -名前や好きなものなどを伝えたり、り -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の名前や好きなもののこと、(誕生日)について、学習した語を用いて表現できる。 -他者に配慮しながら、自ら進んで自分の名前や好きなものについて、世界と日本の共通点や相違点に気付くことができる。	8
○単元名(使用教材) ②【When is your birthday?】(5年教材-Unit2)	8
○単元目標 -誕生日や他の日付について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ③【What do you want to study?】(5年教材-Unit3)	8
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ④【I like ...】(5年教材-Unit4)	2
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	2

5年 「自分」

自分のことを紹介しよう

Unit 1~3

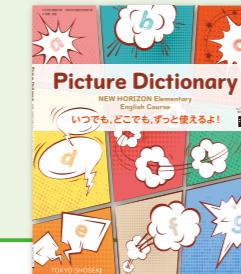
A・B年度共通	
単元名	時数
○単元名(使用教材) ①【Hello, friends!】(5年教材-Unit1)	8
○単元目標 -名前や好きなものなどを伝えたり、り -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の名前や好きなもののこと、(誕生日)について、学習した語を用いて表現できる。 -他者に配慮しながら、自ら進んで自分の名前や好きなものについて、世界と日本の共通点や相違点に気付くことができる。	8
○単元名(使用教材) ②【When is your birthday?】(5年教材-Unit2)	8
○単元目標 -誕生日や他の日付について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ③【What do you want to study?】(5年教材-Unit3)	8
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ④【I like ...】(5年教材-Unit4)	2
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	2

A・B年度共通	
単元名	時数
○単元名(使用教材) ①【Hello, friends!】(5年教材-Unit1)	8
○単元目標 -名前や好きなものなどを伝えたり、り -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の名前や好きなもののこと、(誕生日)について、学習した語を用いて表現できる。 -他者に配慮しながら、自ら進んで自分の名前や好きなものについて、世界と日本の共通点や相違点に気付くことができる。	8
○単元名(使用教材) ②【When is your birthday?】(5年教材-Unit2)	8
○単元目標 -誕生日や他の日付について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ③【What do you want to study?】(5年教材-Unit3)	8
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8
○単元名(使用教材) ④【I like ...】(5年教材-Unit4)	2
○単元目標 -自分の興味や得意なことについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	2

1学期合計時数 26 1学期合計時数 26

2学期合計時数 26 2学期合計時数 26

テーマ別ロードマップで
異学年で学び合う良さを
生かせます。



5・6年生が共通の冊子を
持っているので、一緒に、
同じ語や表現を学べます。

2. 地域紹介



3. 一年をふり返って

A・B年度共通		
単元名	時数	学期
○単元名(使用教材) ④【I live in ...】(6年教材-Unit4)	8	A・B年度共通単元名
○単元目標 -自分の住む場所を発表するときに使う語句や表現が身に付いている。 -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の住む場所について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8	A・B年度共通
○単元名(使用教材) ⑤【I eat ...】(6年教材-Unit5)	8	3学期
○単元目標 -自分の食事について発表するときに使う語句や表現が身に付いている。 -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分の食事について、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8	3学期
○単元名(使用教材) ⑥【Who is your hero?】(6年教材-Unit6)	8	4学期
○単元目標 -自分のヒーローについて発表するときに使う語句や表現が身に付いている。 -活字の大文字を理解している。 -相手に伝わるようによく自分のヒーローについて、世界と日本の共通点や相違点について、学習した語を用いて表現できる。	8	4学期

5年 「日本」

日本のことを紹介しよう

Unit 7~8

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

5年 「地域」

地域のことを 紹介しよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

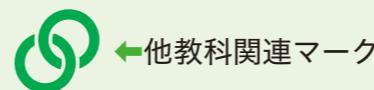
6年 「世界と日本」

世界と日本の つながりを考えよう

Unit 4~6

6年 「世界と日本」

他教科に関連して、 思考力・判断力・表現力を身につける



CLIL (内容言語統合型学習) を充実

—全教科の指導時期を踏まえた単元配列—

- 他教科でクラスの全員が共通に学んだ題材を英語で扱うことで、協働学習によるアウトプットの必然性が生まれ、深い思考が伴うようになります。6年Unit 5では「生命や自然」のテーマを「特別の教科 道徳」の四つの視点に関連させて学べます。
- 中学年から積み上げてきた語と表現を友達と協力して組み合わせ、発達段階に応じて「食物連鎖」のような話題で学ぶことができます（例：Sea turtles eat jellyfish.）。SDGsや消費者教育を考えるテーマも設定しています。

Unit 5 We all live on the Earth.

Our Goal 地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表しよう。

Starting Out 生き物の暮らしに関するクイズを聞こう。どんなことを話しているのかな。

Let's Sing We all live together.

6年 理科 食物連鎖

6年 p.85 国語 絵本 「スイミー」ほか 推薦図書紹介

学び方みいつけた!

教科横断のテーマに加えて、小中高を縦断し、英語教育の重要なポイント（語順など）をいつでも何度も扱えるコーナーです。

6年 p.48 理科 水の循環

6年 pp.50-51 社会 食料 輸出入

6年 p.53 家庭科 栄養素

5年 p.83 図工 カード作り

Welcome to Japan!

5年 p.24 国語 ローマ字

ことば探検 ローマ字と英語

●次の語をローマ字で書いて、英語のつづりとくらべてみよう。

ケーキ ⇒ ローマ字 _____ 英語 cake

プレゼント ⇒ ローマ字 _____ 英語 present

○○○○○○○○○○○○ どんなちがいがあるのかな。

5年 p.45 音楽 和楽器

Let's Listen 2 各一物ごとの栄養素の割合に分けられるのかを聞こう。

6年 p.57 算数 たし算

() yen plus () yen is ()

「できる！」をいざなう題材内容

6年 p.48 理科 水の循環

6年 p.53 家庭科 栄養素

Let's Listen 2 注文した料理の合計金額がいくらなのか、聞き取った数字を()に書こう。

26

27



STORY TIME **Butterfly Friends**

蝶々たちが花と遊ぶ物語です。蝶々たちが花と遊ぶ物語です。

1 We are friends. 2 Only the red butterfly. 3 Please help us, flowers. 4 Only the yellow butterfly. 5 Only the white butterfly. 6 Thank you very much, clover weeds! You saved us! 7 No, thank you, red tulip. 8 Only the yellow butterfly. 9

いじめや差別のない社会について考える読み物教材です。読書の感動を伝えます。(6年pp.82-83)

ピクトグラム

ピクトグラムは情報を伝えるための絵文字だよ。

- 国際シンボルマーク
- スポーツのピクトグラム
- どんな意味かな？

日本で暮らす人々向けの、多言語で表示した標識。東日本大震災などの自然災害から得た教訓を学び、SDGs、防災教育につなげることができます。(5年p.36)

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの精神に則り、児童の興味関心を引き出す題材・素材を取り上げ、国際理解について深く考えるきっかけを与えることができます。(5年p.53)

- 男女共同参画社会に資する「女性が世界・社会で活躍する姿」
- 女性が活躍する社会を、イラストや写真から学ぶことができます。
- アジア・アフリカ・南米・オセアニアなど五大陸をバランスよく
- 社会科の学習と関連させ、「世界」を思考する6年で、とくに配慮しました。

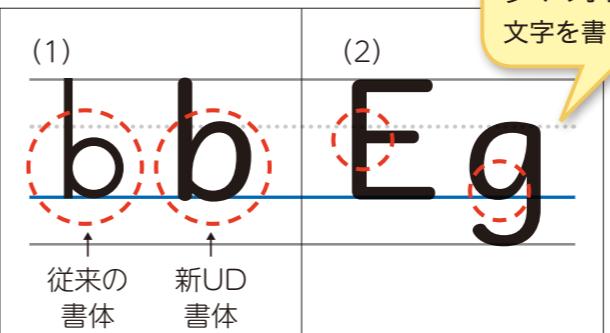


1 活動・学習要素を定位置に配置

単元のテーマに沿った明確な目標のもと、活動を紙面上の定位置に配置することで、学習の流れが一定になり、全ての児童にとって学びやすく、教えやすい教科書になるように工夫しました。また、巻末コミュニケーションカードにミシン目を入れて切り離しやすくしたり、切り取ったカードを収納する袋の型紙を指導書に用意したり、巻末の児童が使う4線ノートを書き込みのしやすい紙質にするなどの配慮をしました。

2 新4線と新ユニバーサルデザイン(UD)書体の開発

●小学生のための文字指導を研究



※英語圏では4線の幅に決まりではなく、日本の従来型のものよりも、書きやすさを重視した幅違いのもののが一般的です。

※教科書5年p.36には4線ノートとアルファベットに関するページがあります。

多くの小文字の高さにあたる第2線は点線にして、大文字を書く際のめやすにもなることを意図しました。

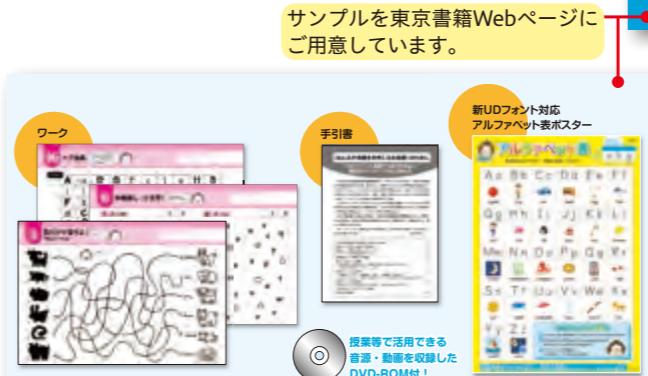


色覚特性の研究者による検証も行い、拡大教科書も発行予定です。

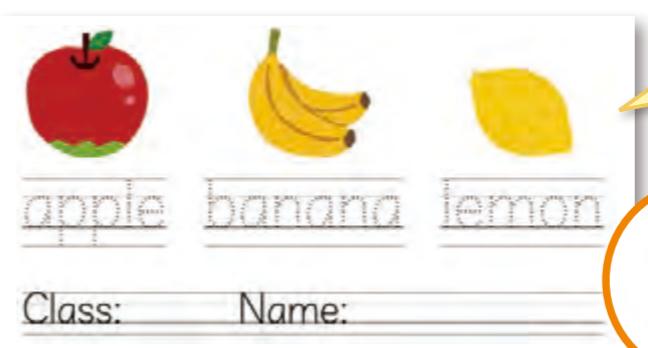


～みんなが英語を好きになるために～ 新UD書体を開発・使用！

- ・正しく書くために、「見る力」を育てます。
- ・漢字や仮名同様に、運筆を学べます。
- ※アルファベットには決まった書き順はないので、意図的にバリエーションを紹介しています。
- ・低学年でも使用できます。



●教師用指導書で4線入力システムを提供



文字を入力すると4線が自動で背景に表示されるシステムが指導書に入っています。実線タイプとなぞり書き用のくさび形タイプの2種類があります。児童が運筆を意識できるように、またかすれなく読み取りやすいように、くさび形にしました。



教科書

●5年生用・6年生用本体



●5・6年生用共通別冊Picture Dictionary



2020年初年度には、6年生にも供給されます。

※別冊のQRコードにはメトロラーニング（→投げ込みデジタル資料p.2）などの機能があり、家庭で保護者と一緒に学ぶこともできます。

●学習者用デジタル教科書



学習者用デジタル教科書のサンプル版にアクセスできます。
→https://www.tokyo-shoseki.co.jp/ict/dkyokasho_el/

教師用指導書

1. 研究編

教科書の考え方と扱い方（評価関係を含む）、指導案、題材情報など。板書例付き。

2. 指導編

教科書紙面に、音声スクリプト、解答、日本語訳、題材メモ、デジタル教材の使用上の留意点を赤字と青字で注記したもの。

※5年用、6年用、別冊Picture Dictionary用をそれぞれ別売でご購入いただけます。

3. ふり返りシート・ワークシート編

毎時のふり返りや確認のためのワークシート、「魔法のワークシート（→本書p.29）」まとめのリスニングテストなど。絵カードの収納袋の型紙付き。

※絵カード収納袋などは、右記「6. DVD-ROM編」からデータを出力してご使用いただけます。



4. 活動例集

Starting OutのLet's Tryなどのワードゲームのバリエーションを50種類収録。活動動画やワークシートをWebページに随時追加する予定。

※低中学年の短時間学習や、中学年の『Let's Try! 1・2』の活動をより豊かにするためのコンテンツ集としてもご使用いただき、小学校低中高学年を接続することもできます。別売もいたします。



5. 音声CD

QRコンテンツと同一内容の音声、Let's ListenやLet's Play、3の「ふり返りシート・ワークシート編」のリスニングテストの音声などが入っています。DVDやパソコンを使用しない環境であっても、音声のみでご授業を行っていただけるコンテンツを収載しています。指導者研修用のクラスルームイングリッシュの音声も入っています。

6. DVD-ROM

- ・QRコンテンツと同一内容の映像/Let's Watch and Thinkの映像
 - ・4線入力システム：文字と同時に4線が表示されるフォントで、Wordや一太郎などでも使用できます。児童が運筆を意識しやすい線のなぞり書き用文字もあります。
 - ・評価システム：Unitごとの評価や授業中の気付きを入力すると、通知表の評価評定の点数が計算されて出てきます。
 - ・指導案バリエーション：短時間学習用、複式学級指導用、ALTとのチーム・ティーチング用など
 - ・3の「ふり返りシート・ワークシート編」のデータ
 - ・総ルビ・分かち書きPDFファイル：特別支援対応
- ※評価システムは、東京書籍が開発した次世代型校務支援システム『iFuture』でデータベースを小中学校で共有することもできます。→https://www.tokyo-shoseki.co.jp/academic/n_ifuture.html



7. 指導者用デジタルブック

文部科学省『We Can!』のデジタル教材と近い操作感でご指導いただけます。

- ・教科書紙面そのものの投影用データ：画面にタッチするだけで必要なコンテンツにアクセスできます。
 - ・QRコンテンツ+α（例えば、Starting Outのストーリー映像について、QRでは重要表現を含む場面に対応する映像のみですが、指導者用デジタルブックには全ての場面に対応する映像が入っています。）
 - ・Small Talk用表現学習映像
 - ・場面に興味関心を喚起するための困り感ショートコント
 - ・ゲーム、チャンツ、語順パズル
 - ・活動モデル映像、海外映像、口形図動画
 - ・絵カード作成システムなど
- （→投げ込みデジタル資料 pp.2-3）



●指導の流れポイントチェック サイト（Web）

指導書ご購入の学校の先生に、指導の流れのエッセンスと必要な音声を授業の前にご確認いただけるコンテンツです。ALT用の英訳版も用意しますので、打ち合わせにご活用ください。

※内容・仕様ともに予告なく変更になる可能性があります。

準拠教材

●学習者用音声教材

・児童用音声CD



QRコードコンテンツと同一のものに加え、マザーグースなどのオーソドックスな歌やチャンツを収録します。『NEW HORIZON Elementary』の教科書紙面にあるQRコードから音声を聞くことが難しい環境でも、CDプレーヤーで聞くことができます。
（→投げ込みデジタル資料 p.4）

●指導用教材

・『NEW HORIZON Elementary』 ピクチャーカード

『Hi, friends!』ベーシックピクチャーカードと同じ判型なので、ニーズに応じて流用したり追加購入していただくことができます。

・『NEW HORIZON Elementary』掛図

教科書の紙面をそのまま黒板に貼ってご使用いただけます。

●学習教材

・アルファベット練習帳

指導書の『魔法のワークシート』+αを綴じこんだ冊子です。「見る力」を育てます。

・えいごランド

中学年用『Let's Try!』準拠の教材セットです。3・4年の「聞く力」を育てるリスニングブック、国語の訓令式ローマ字や算数・理科の単位との系統性をもたせたローマ字ノート、音と文字をつなぐ活動のためのアルファベットブック、トランプサイズのカードほか、手引きが付いています。

・英語活動用ドリル

授業で自信をもって友達とやり取りできるための基礎ドリルです。中学校への接続のための「まとめ」のページもあります。